



## CITY WATCHING

### クローズアップ CLOSE UP

#### 自分のペースで楽しむ

前橋・渋川シティマラソンを4月23日に開催。市内外から集まったランナーは、フルマラソンや家族で楽しめるジョギングなど、多彩なコースを自分に合ったペースで走りました。また、沿道にはフラダンスや八木節などが登場。ランナーを後押ししました。



#### 目指すべき都市像語る

4月21日にまえばしめぶくトークが開催されました。共に本市出身で実業家の田中仁さんとコピーライターの糸井重里さんなどが対談。独自性の大切さをはじめ、本市の活性化を語り合いました。次回は6月7日(水)午後7時30分から会場は前橋テルサです。



#### 2つの公園で春を満喫

敷島公園と前橋公園で4月29日に公園まつりを同日開催。敷島公園では魚のつかみ取りやボート池開放などで大人も子どもも存分に楽しみました。前橋公園でもピザ作りや乗馬体験などのイベントがめじろ押し。春を満喫する人々で大にぎわいの一日となりました。

### 目標は高く、夢は大きく

いきいき  
まえばし人  
シクロ世界選手権に出場した  
新田小教員  
今井美穂さん・29歳



1月に行われた自転車のロードレース、シクロクロス世界選手権。市内在住で新田小教員の今井美穂さんがこの大会に出場した。競技歴5年でたどり着いた世界選手権。世界のレベルを肌で感じた。「競技レベルやコース、現地の雰囲気など全てが、日本とは全く違うものでした。ですが、初めての世界の舞台でも、思い切ってレースをすることができたと思います」

「まずは今年の全日本選手権で優勝をしたい」  
目標は高く、夢を持って頑張りたい。と笑顔で話す今井さん。世界最高峰の舞台を目指し、今日も自転車に乗る。

気持ちのリセットが上手くできているのかな。フルタイムワーカーだからこそ負けたくない、という意地もありますね。世界選手権に出場する時は、クラスの子どもたちがサプライズで壮行会を開いてくれる。子どもたちや職場の方からの応援も力になります」  
来シーズンも世界選手権を目指す今井さん。世界のレベルを知っているからこそ、高い目標を掲げている。

#### 美譚 萩原朔河



vol.1  
図前橋文学館  
☎027-235-8011

萩原朔美文学館長が各界の著名人と対談。さまざまな領域で活躍する館長の素顔に迫ります。1回目のゲストは雑誌「ビックリハウス」刊行時代を共にしたクリエーター・楳本了吉さん。3回シリーズでお届けします。

●二人の出会い、ビックリハウス前夜  
萩原(以下H) 僕らが最初に出会ったのは寺山修司さんの天井敷敷でした。楳本(以下E) 朔美さんと歳が同じで仲良くなつて。仲間と一緒に映画を作ったりしていましたね。

H 当時は20代。みんな暇でも何か表現したいと思って映画を始めて。アングラシネマとか。  
●ビックリハウス刊行当初  
E 1974年に朔美さんたちが雑誌を作りたいと言いついて。企画書を作ったパルコに持って行ったらとんとん拍子に決まって。  
H パルコはセクシャルなもの以外でもやらせてくれましたね(笑)。  
E 当時のパルコは大人志向。なのに、ビックリハウスをやらせてくれた。すると、若者がパルコに来るようになった。80年代、渋谷は本当に若者の街になったよね。  
E 読者投稿のスタイルが、アマチュアがメディアを遊ぶというさきがけだったんじゃないかな。みんなができる中で小さな競争があるというのが面白かったんじゃないかな。(7月15日号へ続く)

